

# メ グ リ ・ カ ク レ ・ ア ハ レ

## 日本音楽集団 PRO MUSICA NIPPONIA

第208回定期演奏会

演出：田村文生 舞台監督：中島隆

2013年3月15日 金



津田ホール 午後7時開演

Tsuda Hall

- 主催／特定非営利活動法人 日本音楽集団
- 助成／平成24年度文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)  
サントリー芸術財団推薦コンサート
- 協賛／津田ホール エムハウス株式会社(代表取締役 山田義典)
- 後援／(公財)日本伝統文化振興財団



公益 財団 法人 日本伝統文化振興財団  
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

# ノヴェンバー・ステップス“第十段”

武満徹作曲／1967年

[尺八] 三橋貴風 [琵琶] 首藤久美子

「ノヴェンバー・ステップス」は1967年、ニューヨーク・フィルハーモニック交響楽団の創立125周年記念祝賀コンサートのために委嘱作曲された作品。

曲は冒頭の3つの音を核とする序奏と11の段からなる。

その「段」は邦楽で使われる構成単位としての「段」でもあり、11段の変奏により構成されている。

第10段にこの尺八と琵琶による長大なカデンツァの部分がある。

このカデンツァ部分の楽譜は武満徹の考案した図形楽譜で書かれており、

各断片の演奏順序は奏者に任せられており、その選択によってひとつの演奏形態が決定される。

参考文献／PHILIPS PHCP-1603 CD解説書 DENON COCO-70608 CD解説書

1

2

## Nyuyo 入陽

Iannis Xenakis作曲／1985年

[尺八] 元永拓 [三味線] 山崎千鶴子 [箏Ⅰ] 桜井智永 [箏Ⅱ] 田村法子

『ヒビキ・ハナ・マ(響き、花、間)』というタイトルの付いたテープ音楽作品(1969年、大阪万博で初演)を書いたクセナキスが1985年に邦楽器のために書いた『入陽(沈む太陽)』は「邦楽四人の会」に献呈された。

「日本の伝統音楽は常に生き活きとした創造力の源であり、その技法は不可能と言われていた事を超える事を可能にする。『入陽』に於いて私は東洋の伝統と西洋の技法を融合させることを試みた。」と彼は述べるが、彼にとっての「東洋の伝統」とは何であったのか?

それがもし、邦楽器特有の微分音的音程の変化(例えば箏の押し手や尺八のメリ・カリ)ならば、それは正にこの作品の後半において顕著に見られる要素である。しかし興味深いことに、この作品の後半の殆どは、1975年作の声乐と器楽アンサンブルのための作品であるN'shimaからそのまま引用されているのである。

その意味では、微分音的・ヘテロフォニックな要素は、特に邦楽器のために書いたこの作品に特有なものではなく、彼の音楽に元々備わっていたものと言えるであろう。

「融合」かどうかはさておき、4つの楽器が近接した音域に配分された音響においては、結果として、各楽器の音色の差異が際立つことになる。

## In C

Terry Riley作曲／1964年

[笛] 遠藤悠紀 [箏] あかる潤 [尺八] 阪口夕山 原郷隆 [三味線] 穂積大志 簀田弘大  
[琵琶] 藤高理恵子 [箏] 三宅礼子 伊藤麻衣子 [十七絃] 丸岡映美 [打楽器] 山内利一 [笙] 三浦礼美(助演)

作曲者のテリー・ライリー(Terry Riley 1935年アメリカ生)はスティーブ・ライヒやフィリップ・グラスらと並ぶミニマル・ミュージックの代表的な作曲家の一人で、In C(1964)は彼の作品の中でも最も知られた曲。

53個の独立したモジュールからなり、それらは全てハ長調=in Cの異なったパターンを持つ。

演奏者の一人がハ音の連続を奏しテンポを維持し、他の演奏者の人数と用いる楽器は自由で、緩やかな指示に従って演奏するため毎回異なった様相を呈す。

ミニマル・ミュージックは、音素材を最小に切り詰めて作られた音型を執拗に反復させる音楽で、西洋クラシック音楽のアカデミズムからは離れ、物語的な要素を排した表現スタイル。

民族音楽の影響もあるとされている。

3

# Hagion Pneuma ハギオン・プネウマ

## ～聖なる息吹～ op.92

権代敦彦作曲／2005年

[尺八] 渡辺淳 [二十絃] 久本桂子

この曲はすべて往復運動から出来ていると言えるであろう。

天と地、彼岸と此岸と、死者と生者と、今と永遠と、そしてあなたとわたしとの間の。

その運動を司るのは、まだ声・言葉になる以前の、“息”（プネウマ）である。

尺八の一吹きには集中がある。そこに集められるのは、天の、地の、生者の、死者の鼓動、そしてわたしの息。

あなたに向かって吹き出された尺八の一吹きが、20絃箏によって、丁度噴霧器の如く音の粒子となって

空間に拡散し、わたしに、そして天に地に、あの世にこの世に、今に永遠にと還される。

この弛みなき往復運動のうちに、罪・穢れを吹き払われた聖い空間が、立ち現れんことを願って。

「ハギオン・プネウマ」～聖なる息吹～は、外山香さんの委嘱で2005年に作曲。

外山香さんの二十絃箏、三橋貴風さんの尺八で初演された。

(作曲:権代敦彦)

# 4

# 5

## une place sur la terre ～地上にひとつの場を～ op.136

権代敦彦作曲 委嘱初演

[能管] 竹井誠 [篠笛] 新保有生 [箏] あかる潤 [尺八] 元永拓 大賀悠司 田野村聡  
[三味線] 守啓伊子 [琵琶] 久保田晶子 [箏] 三宅礼子 [二十絃] 桜井智永 田村法子 [十七絃] 丸岡映美  
[打楽器] 白杵美智代 盧慶順 島村聖香 [笙] 三浦礼美(助演) [指揮] 田村文生

「地上に一つの場所」、ここにしか、それもこの地上にしかない。

この地上とは即ち、これまで地上で死んだすべての者たちの眠るところ。

そこに、そっと、この十数分間だけの、架空のお祭り広場をつくりたかった。

蜃気楼(ミラーージュ)のように。

尺八の息によって場が清められ、巫女鈴の魂ふりによって揺さ振られ、地上での舞いは天に向けられ、

笙の響に先導されながら、地に眠る死者たちの魂は引き揚げられ、この祭りは終わる。

後には何も残らない。その潔さが音楽のいいところだ。

ただ、この祭りを終えた「場所」が、何か祓い聖められた「洞」となる。

それが僕の音楽を通じた魂鎮め、即ち鎮魂の方法に他ならない。

(作曲:権代敦彦)



作曲:権代敦彦 Gondai Atsuhiko (1965- )

少年期にメシアンの影響のもとに作曲を始め、メシアンの影響からキリスト教に触れ、カトリックの洗礼を受ける。桐朋学園高・大、フライブルグ音大、パリRCAM等で研鑽を積む。プッキ国際作曲コンクール、セロツキ記念国際コンペティション、カウデアムス国際音楽週間、ISCM世界音楽の日々等に入賞、入選。国内では芥川作曲賞、出光音楽賞、中島健蔵賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞。カトリック信仰に基づく儀式としての音楽空間を探究。近年は仏教音楽との交流から新たな領域を開拓している。カトリック教会のオルガニストでもある。音楽活動は世界中に及び、現在は、2014年1月の初演(リトアニア・カウナス国立劇場)に向け、新しい形の「オペラ」に取り組んでいる。

特定非営利活動法人 日本音楽集団 正会員(団員)

【笛】

あかる潤 遠藤悠紀  
新保有生 竹井誠  
西川浩平

【箏】

西原祐二

【尺八】

大賀悠司 阪口夕山  
田野村聡 原郷隆  
藤崎重康 水川寿也  
三橋貴風 宮田耕八朗  
元永拓 米澤浩  
渡辺淳

【三味線】

杵家七三 穂積大志 簗田弘大  
簗田司郎 守啓伊子 山崎千鶴子

【琵琶】

久保田晶子 首藤久美子 田原順子  
藤高理恵子

【箏】

伊藤麻衣子 久東寿子 熊沢栄利子  
桜井智永 佐藤里美 島崎春美※  
城ヶ崎美保 田村法子 彦坂恵美  
久本桂子 前川美保子 丸岡映美  
三宅礼子 宮越圭子 山田明美  
渡辺正子

【打楽器】

白杵美智代 尾崎太一  
黒坂昇 島村聖香  
仙堂新太郎 多田恵子  
望月太喜之丞 山内利一  
盧慶順

【指揮】

稲田康 田村拓男  
田村文生 苦米地英一

【作曲】

秋岸寛久 川崎絵都夫  
篠田大介 高橋久美子  
福嶋頼秀

【楽器・舞台】

中島隆

【アートマネジメント】

大西愛子

【事務局】

中山美穂子

【永久名誉団員】

長澤勝俊

楽器別・五十音順  
2013年2月現在(※印は休団中)

賛助会員へのお誘い

1999年10月、特定非営利活動法人  
日本音楽集団が発足したのを契機に、  
賛助会員を募集しています。

多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い  
活動の定着と発展を目指したく、  
ご協力をお願い申し上げます。

年間

個人会員 10,000円(一口以上)

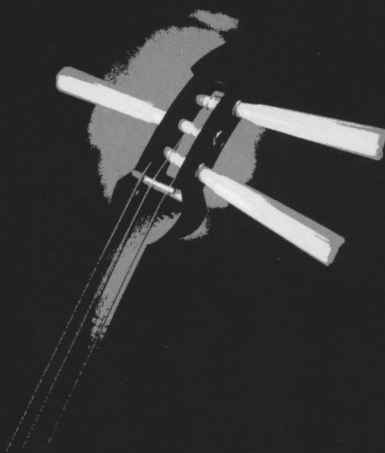
法人会員 30,000円(一口以上)

賛助会員 | 賛助口数・五十音順(2013年3月現在)

【法人会員】 有限会社 文 有限会社 邦楽ジャーナル

【個人会員】

平木睦	水野正徳	山本昌男	伊藤憲夫	伊藤美好
青山光枝	朝吹英世	石井智子	小野永恵	柿崎やよい
江西縁	太田颯衣	大塚悦子	佐藤玲子	繁下敏子
風見真利子	小池節子	斎藤哲清	佐藤裕美	立花大幹
四反田素幸	杉山英樹	須郷哲治	添川浩史	武田容司子
千葉一郎	千葉整子	辻淑子	東谷仁	富山優子
西野千恵子	藤川雅之	皆川正一	皆川春子	宮川慶子
元永美代子	森繁美	山崎武子	山本恵	油谷美穂子
吉村七重	渡辺邦子	渡辺治子	(他4名、計52名)	吉田茂



三味線・箏

株式会社

琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 2-19-15  
TEL 03(3792)8481 FAX 03(3792)8437  
URL : <http://kinko-do.com/>  
E-mail : [tokyo@kinko-do.com](mailto:tokyo@kinko-do.com)

特定非営利活動法人  
日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビルB1F  
TEL 03-3378-4741 FAX 03-3376-2033  
<http://www.promusica.or.jp> E-Mail [office@promusica.or.jp](mailto:office@promusica.or.jp)